

《社会福祉法人 仁育会 経営理念》

地域との連帯を深め信頼される社会福祉施設としての確立と、安心と安全を守るゆとりある生活支援を目指します。

《青梅療育院運営方針》

1. 利用者から安心されるサービスの提供
1. 生活の安全を守るサービスの提供
1. 要介護度に応じた適切なサービスの提供

＝7月の行事計画＝

1日（木）誕生会

5日（月）出張水族館

（葛西臨海水族園）

7日（水）七夕まつり

9日（金）選択食



13日（火）迎え火

16日（金）送り火

19日（月）理髪（2階）

23日（金）選択食（うなぎ）

26日（月）理髪（3階）



＝8月の行事計画＝

5日（木）誕生会

13日（金）選択食

16日（月）理髪2階

23日（月）理髪3階

※日付未定 変わり湯（ハーブ）

27日（月）選択食

※日付未定 納涼模擬店



＝大災害発生時における地域との災害活動相互応援協定について＝

地球温暖化に伴う気象変動によって、広範囲に及ぶ大規模災害が毎年のように発生しています。

東京都においても平成25年10月の大島土砂災害、平成26年2月の大雪による首都圏の交通マヒ、平成28年8月の台風による局地的豪雨災害などが記憶に新しいところです。

また、近年に発生すると予測されている、東京周辺地域を震源とする直下型地震や、太平洋沿岸の広範囲に被害が及ぶと予測される、南海トラフ巨大地震の発生の可能性などが指摘されています。

昔から「災害は忘れた頃にやってくる。」と言われていましたが、近年では大災害が平常化して発生するように、大きく変化してきており、今年も災害に備える季節を迎えました。

特に、当施設が5年前の平成28年8月22日の台風により、1時間で110ミリの集中豪雨に被災し、施設一帯が急激に増水し建物内に泥水が流入し、わずか30分間に1階全体に床上40センチの浸水被害を受け、事務機能がすべて不能となり、短時間での浸水のために器材や書類等の搬出が間に合わず電気系統や通信機能も使用不能となり、厨房の器材もすべて泥水に汚染されて使用できず、給食業務も約1ヶ月外部の給食業者に委託するという状況となりました。

1階全体が泥水に汚染されたために、環境衛生面から改めて大掛かりな清掃に数日を要し、災害による業務への大きな損失を痛切に感じました。

万一災害が発生した場合において、避難行動が困難な施設入所者の皆様に対して緊急事態に対応するために、老人福祉施設と地域住民が連携して、防災訓練を通して相互に協力していくために、「大規模災害発生時における地域との相互応援協定書」を締結して、施設に入所されている皆様の避難対策に対して地域の皆様のご協力を頂くことと、地域の皆様が被災した場合の避難場所として、施設を利用されることや、食料や医薬品についても、施設が常備している物資の応急的な支援に協力するなど、適切な災害応援体制が図れるよう取り組んでいくことにしています。

個別レク～ドライブ～

青梅療育院ではご利用者様個々の“やりたいこと”を応援するため、個人個人のレクリエーションを実施しています。

今回は「ずっと外に出ていないからドライブに行きたい！」と言われたご利用者様とドライブを楽しんで来ました。



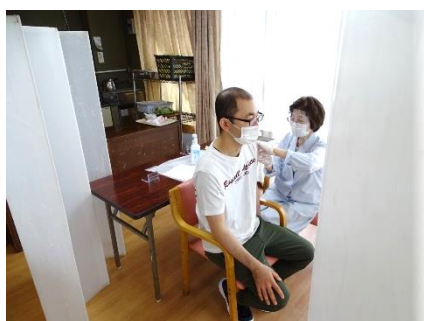
福島ひまわり里親プロジェクトに参加しました

このプロジェクトは東日本大震災後、福島県の障がい者福祉施設でのお仕事がなくなり、困っていることからなんとか助けたいと始まったプロジェクトです。福島県の福祉施設からひまわりの種のパック詰めを購入し、全国各地でひまわりを育てて、その種を福島県の福祉施設に戻すことで、福祉施設にはお仕事が生まれ、日本中にひまわりと笑顔があふれるというプロジェクトです。当院では利用者様にひまわりを育ててもらっています。今から花が咲くのが待ち遠しいです！(^~)!



コロナワクチン接種2回目が終わりました。

6月19日 ご利用者様及び職員の2回目ワクチン接種を行いました。大きな副反応もなく、無事に終わることができました。しかしながら、感染対策は今までと同様に続けてまいります。



東京都議会議員選挙

6月29日 東京都議会議員選挙の不在者投票を施設内で行いました。不在者投票管理者が見守る中、51名の利用者様が投票を終えました。

